

令和8年(2026年)6月治験審査委員会：会議の記録の概要

開催日：令和8年6月23日(火) 15:30～15:45

場所：4階403会議室

出席委員：島田浩太(委員長)、井上大(副委員長)、織田錬太郎、保坂晃弘、村上佳子、助川久美子、高橋信、名取美佐子、筒井健治、松井敬祐、川住武史

Webにて出席：松本泰之、清宮國義

※手順書に則り外部委員はWeb(Webex)で出席した。

欠席委員：なし

1 前回の治験審査委員会 議事録の承認

異議は無く承認された。

2 前回の治験審査委員会 会議の記録の概要の承認

異議は無く承認された。

3 実施中の治験

(1) <ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による CTL019 (チサゲンレクルユーセル) の第Ⅲb 相試験>

概要：当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(2) <(治験国内管理人) ICON クリニカルリサーチ合同会社による axicabtagene ciloleucel の添付文書に記載の承認された適応症の診断を受けた成人患者を対象とした製品規格外の axicabtagene ciloleucel の拡大アクセス試験>

概要：①当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

②治験実施計画書の変更

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(3) <ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による第Ⅲ相試験を完了した PMR 患者を対象とした AIN457 の第Ⅲ相継続投与試験>

概要：当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(4) <ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした VAY736 (ianalumab) の第Ⅲ相試験>

概要：当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(5) <ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした VAY736 の継続投与試験>

概要：当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(6) <ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるシェーグレン病成人患者を対象とした JNJ-80202135 (Nipocalimab) の第Ⅲ相試験>

概要：契約者の変更

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(7) <ヤンセンファーマ株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした JNJ-80202135 (Nipocalimab) の第Ⅲ相試験>

概要：修正報告の確認（同意撤回書の修正）（報告）

上記について、前回（令和8年5月）の当委員会において、修正の上承認になった治験である。同意撤回書の修正を指示していた。その修正を行った旨の報告であり、了解された。

(8) <エーザイ株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした E6742 の第Ⅱ相試験>

概要：①当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

②治験に係る経費の変更

③治験実施計画書の変更

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(9) <ヤンセンファーマ株式会社の依頼による活動性乾癬性関節炎患者を対象とした JNJ-88545223 の第Ⅱb相試験>

概要：①治験実施計画書の変更

②説明文書および同意文書の変更

③治験依頼者の治験費用負担範囲に関する資料の変更

上記について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。

審議結果 承認

(10) <中外製薬株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした R05072759 (オビヌツズマブ) の第Ⅲ相試験>

概要：①当該治験薬で発生した重篤な副作用報告

②治験の継続の適否

①について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。②について、治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果 承認

4 その他

・モニタリング実施状況（報告）

2026/5/18～2026/6/12；5件、26.83hr

問題となるような指摘事項はなかった。

以上